

全日本チェーンソープレート飛ばし大会規定

はじめに

全日本チェーンソープレート飛ばし大会とは、その名のとおり、丸太の上辺を円盤(プレート)状にカットし、チェーンソーの刃の回転(キックバック等)を利用し、丸太から切り取られた円盤状の木片がさも、円盤のように飛ぶことを利用した競技であり、その距離を競うものである。

1. フィールド :

直径2.135のサークル、69.84度の角度のライン内に入ったものだけが有効となり、ライン内にプレートの芯が入れば有効となる。

(※ 砲丸投げのフィールドとしていたが、あまりに狭いため、角度を2倍に設定した。)

2. クラスわけ:

チェーンソーの排気量による。

- 30cc 未満
- 30cc以上、50cc未満
- 50cc以上

3. エントリー:1人 2 クラスのエントリーを認める。ただし、同クラスでの 2 台のエントリーは不可能とする。

※少人数の開催、または時間の制限がなければ、全クラスのエントリーを認める。

4. 参加資格:

チェーンソーカービングを行っている者(カーバーのみ)。

チェーンソー及び各種道具(保護用具)などを装備、準備しているもの。

事故・怪我などすべて自己責任とすること。

以上すべてを満たすものが参加できる。

5. 競技について

□競技の順番

- ①30cc未満クラスから順次開催する。
- ②各クラスともくじ引きにより、競技順番を決定する。

□競技の方法

- ・各クラスとも、丸太は共通の物を1本使用する。
- ・丸太が 50cm 以下となった場合は交換する。
 - ※ 資源を無駄遣いしないようなカットを心がけましょう。
 - ※ カットしたプレートはプランターの下敷きなどにお勧めしましょう。

- ①1人の競技時間はセッティングを含めて3分以内とする。
- ②選手は、カッティングフィールドの後方より、フィールドに入場する。
- ③丸太の位置、傾きを修正する。
 - ※この際の1カットは認める。(1カットするときは、事前に申し出ること)
- ④エンジン始動
 - ※エンジン始動後に丸太の傾きなどを変更することはできない。
- ⑤丸太をプレート(円盤)状にカットする。
 - ※カットは1カットのみとする。
 - ※1度丸太にはいったチェンソーの刃が少しでも丸太から離れた時点で、1カットとみなす。
 - ※すべての工程の中で、プレートが少しでも欠けた場合は失格とする。
 - ※チェンソーの角度を変えることなどは自由にできる。
 - ※チェンソーのスロットルから手が離れた場合や、エンストした場合はその時点で競技終了となる。

□ 計測

- ①プレートが最終的に止まったところから、丸太までの距離を計測する。
 - ※計測はプレートと丸太の内側の距離とする。
- ②プレートが縦向きになり、転がったとしても、フィールド内で止まれば有効である。

平成 19 年11月 22 日 策定

全日本チェンソープレート飛ばし大会規定策定委員会